



情報センターは、1966（昭和 41）年設置の電子計算機センターを源流とし、数度の改組を経て、2014（平成 26）年に現在の名称となった。大学 ICT 検討委員会・情報戦略室の方針の下、情報ガバナンス維持の実働部隊として、キャンパス情報基盤の整備・運用、情報システムおよび ICT の活用、情報セキュリティ維持を担っている。

沿革

情報基盤・情報化施策の計画と実施

キャンパス情報ネットワークについて、教育・研究・業務それぞれの学内ニーズに沿った情報機器の配備、また、機器等のライフサイクルを最大限考慮した整備計画立案、調達を行っている。また、クラウドによる仮想化基盤やメール基盤、教育・学習支援環境サービス、包括契約ソフトウェア、ストレージサービスなどの提供を行うとともに、それら ICT 機器やサービスの活用方法についての提案・周知も行っている。

キャンパス情報ネットワーク管理とサイバーセキュリティ対策の実施

全学の情報セキュリティに関する管理、ネットワーク監視を行い、安全安心のキャンパス情報ネットワ

ーク環境を提供している。また、普段の情報セキュリティに関する周知・啓発活動や、緊急時を想定した CSIRT(Computer Security Incident Response Team) 運営なども行っており、それらの活動は、情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001; ISMS) の維持によって客観的にも評価されている。

BYOD 環境整備

PC 必携制度の開始に併せて BYOD(bring your own device) 支援の体制を構築するとともに、学内の教室やパブリックエリアに無線 LAN を整備・管理している。

